

### RUBeC 演習を通じた自身の成長

河原 侑 佑

Yusuke KAWAHARA

機械システム工学専攻修士課程 1年

#### 1. はじめに

私は日本時間 2015 年 8 月 15 日から 8 月 31 日まで、「RUBeC 演習」に参加しました。RUBeC とは「Ryukoku University BErkeley Center」の略であり、アメリカのカリフォルニア州パークレー市にある龍谷大学の北米支部へ学生を派遣するプログラムです。このプログラムでは、英語での学会発表を想定した英語の要旨の作成と英語でのプレゼンテーションスキルの獲得、またそのための英語力を身に付けることを目的としています。ほかにも現地企業や協定校への訪問を行いました。私が学部 3 回生の冬に当時修士 2 回生だった先輩からこの演習があることを聞きました。当時の私は海外に対して怖い・危険だというイメージを持っており、あまり参加したくないと考えていました。しかし、学部 4 年生の間に自身の研究に関する論文を読み、その多くが英語で執筆されていることが分かり、英語の重要性を感じました。また、自分は先入観にとらわれて決めつけるくせがあり、それを海外での生活を通して克服できるかもしれないと思いました。これらのことから、RUBeC 演習を通して成長できると考え、この演習に参加することを決めました。

#### 2. プログラム期間の活動について

プログラムの期間中は主にパークレー市にある「浄土真宗センター」という場所で活動しました。英語の講師の方を招いて、午前中は英語の要旨を作成するための英文法の授業を、午後はプレゼンテーションスキルを獲得するための授業をしていただきました。英文法の授業では要旨を見た人が理解しやすいような文章の作り方や、間違えやすい冠詞や前置詞などについて教えていただきました。事前に自



身が作成していた要旨を講師の方に初めて見てもらった時には赤い文字で修正点がたくさん書かれており、自分は英語力がないのではないかとがく然としました。しかし授業を受けて要旨を修正する回数を重ねるごとに修正点の数は少なくなり、完成した要旨に「You did a great job!」と書いてあるのを見て強い達成感を感じました。プレゼンテーションの授業でも初めは英語による自己紹介すら言葉に詰まりながらであり、内容をほかの参加者に理解してもらえませんでした。しかし、すべて英語で行われる授業を通して英語での会話スキルを磨き、最終日のプレゼンテーション大会では滑らかに発表をすることができ、質問にも英語でしっかりと回答することができました。

企業、協定校の訪問としてカリフォルニア州サンタ・ローザにある KEYSIGHT Technologies 社とカリフォルニア州デービスにあるカリフォルニア大学デービス校を訪問しました。KEYSIGHT Technologies 社では企業で研究や製造をする方の話を聞き、研究に対する考え方を学ぶことができました。カリフォルニア大学デービス校では現地の学生の学習に対する意欲を肌で感じることができ、私も研究に励む決意を新たにしました。

#### 3. 海外での生活について

滞在期間の 2 週間の間は現地のホストファミリーのもとでのホームステイ生活を送りました。ホストマザーの方はいつも私を気遣ってくれ、休日には映

画やショッピングモールに連れて行ってもらいました。カリフォルニア州は近年、降水量が少ないことによる渇水から水を大切にしており、歯を磨くときはコップ1杯の水で済ます、洗濯は一週間に1回だけ、といった注意を受けました。日本は水が豊富にあるので多少水を出しっぱなしにしてもなくなることはなく、洗濯も毎日できるので、日本での生活がいかに恵まれたものであったかを痛感しました。バークレーの街にはたくさんの人がおり、駅前ではカントリーミュージックのライブが行われるなど明るい一方で、時にはホームレスが物を乞いをして話しかけてくるなど怖い体験をすることもありました。しかし、アメリカの人は総じて明るく、親切な人が多いということも分かりました。電車でどの駅で降りればいいのかわからなくなっている人を助けたりする場面もありました。最も驚いたのが、電話中でも構わず他の人と会話をしてしまうところでした。またアメリカの人はすごく素直で、赤信号を渡っている人を見ると大声で注意することもありました。アメリカでの生活は日本では感じられないことがとても多く、それまで海外を怖い場所としか思っていなかった僕にとってはとても新鮮な経験となり、先入観を払拭することができたと思います。

#### 4. RUBeC 演習を終えて

RUBeC 演習を通して得た英語のスキルは、2週間という短い期間なので大きなものとは言えませんが、今後も継続的に英語の勉強をしようという意識を持たせてくれました。また、海外でのホームステイ生活を通して、アメリカの人々の暮らしや文化、そして温かみを知ることができたことは私を大きく成長させてくれたと思います。なにより、これまで海外へ行くことに抵抗を感じていた私が、また海外へ行きたいと思っていることが何よりの成果だと感じています。

